



大阪府赤十字血液センターからの情報や、血液にまつわる意外なお話をご紹介します。

Topics

全血献血の検査採血方法がかわりました



全血献血(200mL、400mL)の採血前検査の採血方法がかわりました。静脈の血管に針を刺して採血する方法から指先に針を刺して採血する方法に変更となり、2020年3月23日から大阪のセンターをはじめ全国14センターで先行導入され、2020年9月1日から順次全国の血液センターで実施されています。

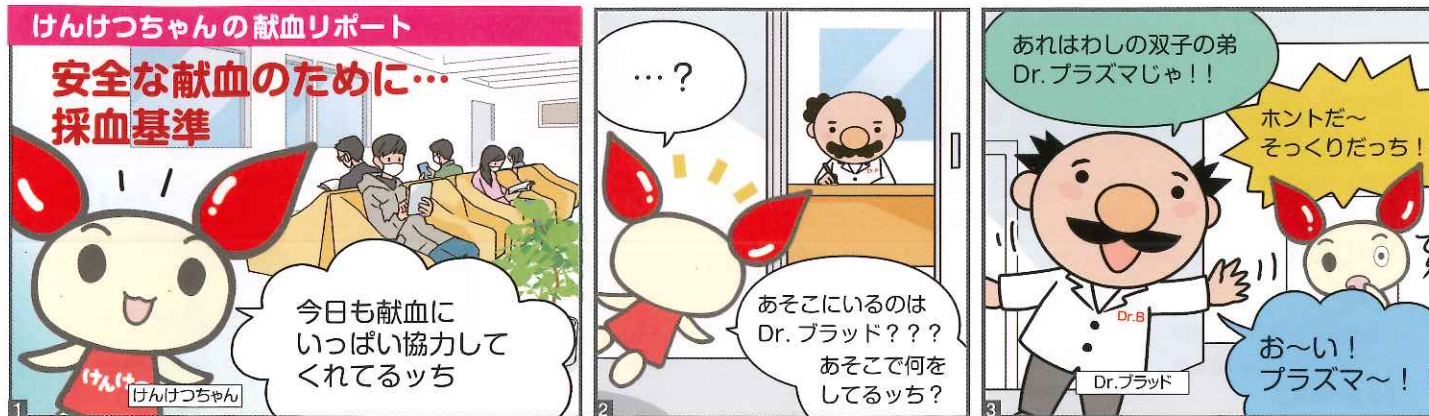
指先に専用器具を使って針を刺し、血液を少量採取し、ヘモグロビン値を測定します。今まで採血していた検査用の血液は200mL・400mL採血時に他の検査分とあわせて採取するため、検査サービス通知内容に変更はありません。指先には大きい神経がないため、痺れなどの採血副作用が減少するといわれていることから指先からの検査採血が導入されました。

主に中指
あるいは
薬指の
指先に針を
刺します。



「指先から採血することを見るのも採血されるのも初めて。」という方がほとんどです。担当看護師が十分に説明した後、検査採血させていただきます。

大阪府赤十字血液センターでは導入後約半年が経過しており、2020年4～9月における移動採血車での採血副作用の発生頻度は前年同時期に比べて半数程度になっています。皆様の献血へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



※日本赤十字社では、献血者等の保護を図るために必要な規則を定める「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液法)」に基づき、献血を実施しております。

ひろがれ 献血の輪!

株式会社ウェブシャーク様 ～献血への応援メッセージ～

「献血」というその言葉自体は一般的になっておりますが、実際に行動に移す方は、まだまだ少ないという現状をうかがいました。献血は、もっとも身近な社会貢献活動の1つです。献血により救うことができる命が多くあるので、その重要性を訴える上でも、我々にできることがあれば今後ぜひ協力させていただきたいと思っております。

株式会社ウェブシャーク様

快適すぎて動けなくなる魔法のソファ「Yogibo」を展開している株式会社ウェブシャーク様は、被災地への災害義援金寄付等、社会貢献活動に注力されております。今回は、新型コロナウイルスの影響による献血者減少を危惧され、2020年8月21日(金)「献血の日」に合わせて、Yogibo Store御堂筋本町店がある銀泉備後町ビルで献血活動にご協力いただき、献血していただいた方への記念品(Yogibo Mate Strap)もご用意くださいました。



(YogiMi Smile贈呈式)
株式会社ウェブシャーク 岸村 取締役(右)
当センター 吉村 献血推進一部長(左)



また、「今後、献血された方々がリラックスして休憩できるように」と大阪府内の各献血施設に可愛い人型クッション「YogiMi Smile」を100個寄贈していただきました。現在、各献血施設に設置させていただいています。

(YogiMi Smile)
ソーシャルディスタンス確保のため活躍中!
※大阪府赤十字血液センター内の休憩フロア